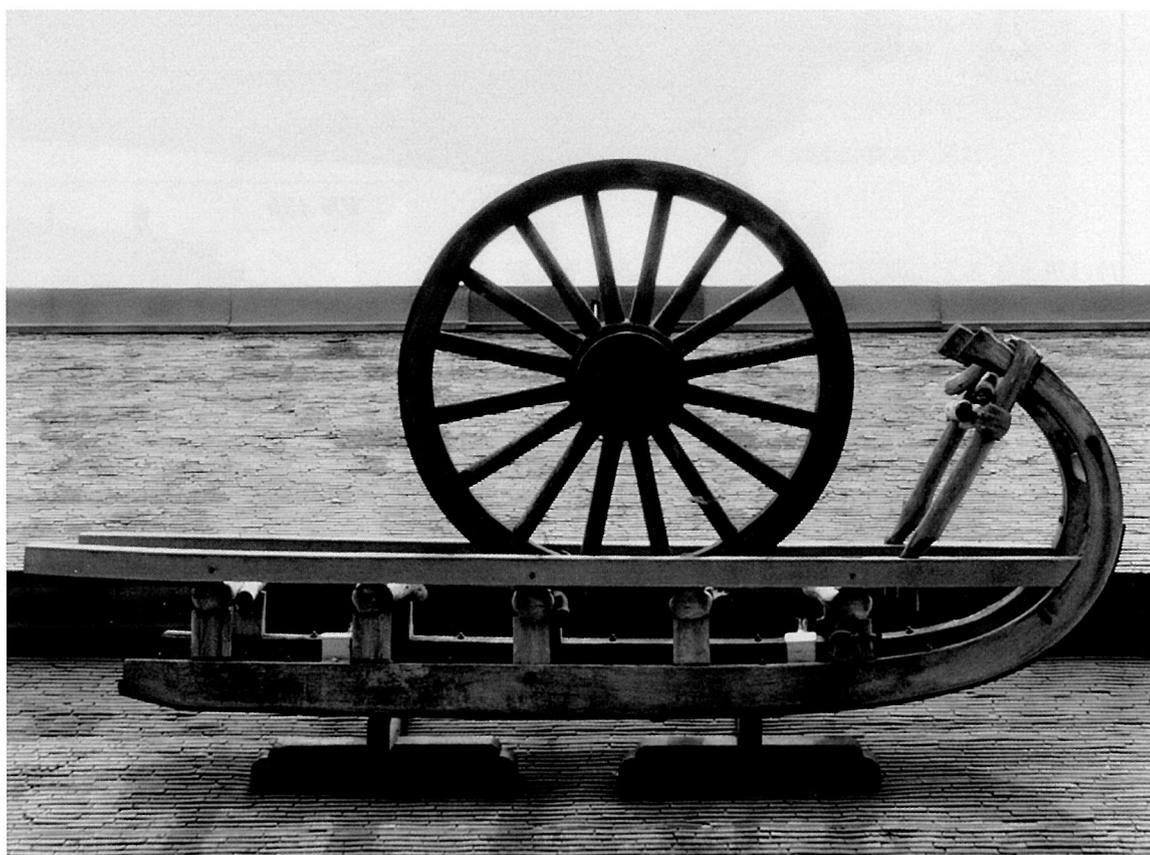


ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：北海道立林産試験場



都市エリア事業について、特に米代川流域の事例

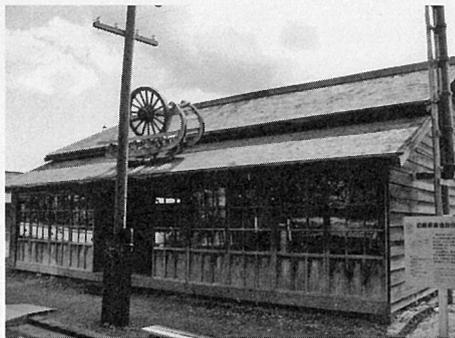
ウッドエイジ

木材の研究と普及
第58巻・通巻675号

目次

都市エリア事業について、特に米代川流域の事例……………	1A
ヤナギからバイオエタノールを作る……………	1
第17回北海道こども木工作品コンクールを終えて……………	3
連載「道産木材データベース」	
〔ハンノキ類（カバノキ科ハンノキ属）〕……………	6
〔イヌエンジュ〕……………	9
Q&A先月の技術相談から	
〔木工品製作における割れなどの補修方法について〕……………	11
行政の窓	
〔木材・木材製品の貿易動向について〕……………	13
林産試ニュース……………	15

古建築シリーズ ⑮



北海道開拓の村 旧藤原車轆製作所

この建物は、明治36年に妹背牛に建てられた車轆製作所です。

木造切妻平入りの建物の屋根には、看板の代わりに車輪と馬轆が掲げられており、建物の正面意匠を印象深いものにしています。

こちらで製作されていた馬轆はロシアの荷轆を北海道の風土に合うように改良したもので、札幌型馬轆と呼ばれていました。